

「隅田川駅鉄道貨物輸送力増強事業」について

平成21年11月11日

北海道、東北、北陸地区～関東地区間の鉄道貨物輸送の北の玄関口である隅田川駅は、明治30年の開業から車扱輸送を中心とした駅構造となっており、20両編成列車や大型コンテナの取扱が制限されるなど、輸送力の増強が困難な状況となっています。

環境負荷の少ない大量輸送機関である鉄道貨物輸送へのモーダルシフトの促進、北海道、東北ルートへの輸送力増強を図る第一歩として、20両編成列車対応の着発線、荷役線、コンテナホームの延伸、大型コンテナ取扱対応のためのコンテナホームの拡幅、機関車留置機能の整備を行います。

この結果、18両編成列車の20両化や、従来難しかった有効時間帯における列車の増発、大型コンテナの取扱強化等が図られるようになり、今後の増送ニーズへの対応などお客様へのサービスアップが実現します。

つきましては、下記により起工式を行います。

1. 日 時 平成21年11月24日(火)
 (1)起工式 10時30分から
 (2)直 会 12時00分から
2. 場 所 (1)起工式 隅田川駅構内
 「住所」荒川区南千住四丁目1番1号
 (2)直 会 サンパール荒川
 「住所」荒川区荒川一丁目1番1号
3. 主 催 京葉臨海鉄道株式会社、JR貨物

(参考)事業概要

- (1)工事場所 常磐線隅田川駅構内(東京都荒川区)
- (2)工事内容 着発線、荷役線の延伸、コンテナホームの拡幅、機関車留置機能の整備等
- (3)事業効果 鉄道コンテナ輸送力の増強 約22万トン/年
- (4)モーダルシフトによる環境負荷の改善
 CO₂の排出削減量 約3.3万トン/年
- (5)事業費 約46億円(補助率30%以内)
- (6)完成予定 平成24年度
- (7)事業主体 京葉臨海鉄道株式会社(第3セクター)